※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

【グループワーク】　C 班
自分の意見を話し、相手の意見を聞く
- **原子力は本当に安全か？**
- **原子力は本当に必要か？　原子力はやめることができるのか？**
- **エネルギーの中の原子力の位置づけは？**

最初の発表者とファシリテーターの決定

（サブ F）　まず、模造紙を 4 つに分割しますね。真ん中に日付と、C 班というのを書いてもらっていいですか？　7 月 6 日土曜日、ここは C 班ですね。ありがとうございます。
　それで、線を引いたほうがいいですか？　では、引かせていただきます。では、お好きなところに自分の名前を書いていただけますか。

（各自名前を記入）

（サブ F）　持ち時間ですが、この班は良かったですね、4 人だから、1 人 15 分です。

――　でも、そちらの方の資料がすごく多いので、どうしようって悩んでいますけれども。何ページあるのですか？

（サブ F）　今日は、ファシリテーターは持ち回りということですので、どうしようかな。発表者の向かいの方にしましょうか。では、どなたから発表しますか？

――　では、そちらの方は一番時間がかかりそうなので。

（サブ F）　いや、ごめんなさい。時間は 15 分で切らせていただきます。お一人をたくさん取ると、あとの人が短くなって不公平になりますので。

――　では、そちらの方からどうぞ。

（サブ F）　では、今早速仕切っていただいているので、1 番目のファシリテーターをお願いします。

発表者 1

（発表者 1）　ええと、15 分ですか？

（F1）　15 分で、時間も（サブファシリテーターが）見てくださっているので、お願いします。

（発表者 1）　私が選んだのは、あ、何分でやるのですか？　5 分ですね。

私が選んだのは、『エネルギーの中の原子力の位置づけは？』です。

やはり、日本の高齢化社会を支える介護保険、身体障がい者の問題、雇用維持、環境保全というのは、経済力がないと駄目だと思うのです。その基本がエネルギーだろうということです。

この前、イスラエル人と話したのですけれども、イスラエルの沖合に、膨大な天然ガス田と石油が発見されたのですね。イスラエルは、今後 50 年間はエネルギー問題もないことになったと。こんなことはマスコミでは全然報道しないでしょう。

それから、ガス田の流れがシリアに行っているのですよ。だから、シリアの沖合にものすごく石油とガスが出る。それから、例のパレスチナのガザ地区も出るのです。だからここはもう紛争はやまない。エネルギーをめぐる争いになると思います。

同じことは尖閣諸島にもあって、今、中国がガスを掘っている。ですから、日本は、平和的にエネルギーを確保するのか、それともエネルギー確保のために何かするのかという話になりますよね。そうでなければ、中国の言う通りになって、放棄すればいいので。

で、何もしないのだったら、どうしたらいいのか。今回の参議院選挙も、自民党以外は全部脱原子力と言っているじゃないですか。本当にできるのか。私としては、全部が原子力になることはないけど、必要なのではないかと思っています。

ただし、今の国の政策や学会にも問題点はあります。安全性を高める研究にほとんど金をかけていない。例えば、今回の事故はなぜ起きたかといったら、燃料ペレットが危なかったし、被覆管が水を分解して水素を出したからですよね。じゃあ、別のものに変えられないのかというと、ここが全部アメリカの特許なのですね。そういうところに金をかけるべきだと思います。そういうことを、学会も言わないし、研究者も言わない。だから、信用できない。

もうひとつは、放射能の除染についてです。私は重工とか東芝とかいろいろな人と話をするのだけど、彼らは、作ったけれどもその後は知らないと言っているのですね。それじゃよくないだろうと。自動車は、買った後に事故が起きても、自動車会社が怒られるじゃないですか。原子炉を作った人たちは、その後漏れたからといっても、除染は知らないよ

と言っている。私は、そういう意味では、重工、日立、東芝に対して、除染はあなたたちの責任でしょう、と言うべきだと思うのです。

ということで、安全な材料の研究がされていない、放射能の除染に対する問題がちゃんとされていないから、国民は不安なのですよね。

イスラエルのガスは、すごいんですよ。今まで地質学的にありえないと思っていたところで出始めている。だから、日本の周りでも出るかもしれない。だから、各国が狙っているでしょう。そういうことをやはり日本国民は守らないといけない。

後ろにつけた PDF は、東芝の人に作ってもらって、原子力というものはこういうものだというのを学生に説明してもらったのです。非常に好評でした。こういうことをきちんと教えてもらったことがないということですね。まあ、家庭の主婦が読むかどうかは別ですよ。でも、ちゃんとした人たちが読めるものを作ったかな、と思っています。以上です。

5 分というのは結構短いですね。

（F1）　そうですね。いつもタイトだ、タイトだ、と言っていますよね。

――　まあ、文科省のお金をもらっているから、目標を与えられているから、仕方がないのですよね。報告書を書かないといけないから。

（F1）　ありがとうございました。ファシリテーターはずっと私が続けるのですか？

では、次に、

（サブ F）　はい、2 番からやっていただいていいですか？

（F1）　今紹介してくださったことに対して意見を貼っていくのですけれども。

でも、「原子力発電が必要であることを国民共通で認識する必要性を感じています」という文章が書いてあるのに、今のお話はちょっとそこから外れていましたよね？

（サブ F）　では、そういうことについても、書いていただきましょう。2 分間です。そういうことも含めて、今お感じになったこと、聞きたいこと、ご意見等を、専門家の方はブルーの紙に、一般の方はピンクの紙に書いてください。

（記入中）

（サブ F）　1 枚につき 1 つの質問、あるいは意見でお願いします。

（記入中）

（F1）　発表者さんは、書かないのですか？

（発表者 1）　だって、私は発表者ですから。次からは山のように書きますよ。

（サブ F）　ファシリテーターさん、いいですか。時間管理も兼ねてやってください。一応、2 分経ちました。

（F1）　2 分ですか？　でも、2 分から 3 分と言われていましたので。

（サブ F）　3 分でもいいですよ。

（記入中）

（F1）　はい、そろそろどうでしょうか。

（発表者 1）　いいんじゃないでしょうか。では、3 番。

（F1）　皆に質問と意見を読み上げてもらいながら、模造紙の発表者の箇所に貼っていきます。

（発表者 1）　では、そちらの方から貼ってもらいましょうか。

（F1）　そうですね。お願いします。

――　まだエネルギーバランスは未定なのかということと。原子力が必要か否かという議論をしていますけれども、1 か 0 かというのは時期尚早なことと考えておられるのかということと。この 2 つはリンクするのですけど、そういう質問です。

それと、よく言われる再生可能エネルギーというものは、どういう位置づけになるのか。実現性をどう考えておられるのかというところを聞いてみたいと思いました。

（F1）　次は私ですね。シリアとか、ガザ地区の話をしていましたよね。なぜ、日本のマスコミはこのことを発表しないのでしょうか？

日本のメーカーが、作りっぱなしで何かあったときのことは知りませんというのは、なぜなのでしょうか？

あと、これは発表にはなかったのですけれども、資料の最後のところを読んで、「原子力

発電が必要であることを国民共通で認識する必要性がある」のはどうしてでしょうかという質問です。

――　私は、国産の原発は可能なのか？　ということ。

（発表者 1）　これは、日本独自の技術という意味ですか？

――　日本製の原発ができないのか、ということです。
　あとは、モンゴルの石炭。最近首相がさかんに言っているので。あと、ロシアの天然ガスのことも言っているので、そういう可能性はないのだろうか？

（サブ F）　可能性というのは、それを輸入するとか、そういうことですね？

――　そうです。

（F1）　日本のメーカーって言っていますけど、福島のは、GE という、アメリカのメーカーなんですよね？　設計は。

（発表者 1）　設計は GE で、GE から言われた通りに作ったのが日本の会社です。初めは技術がなかったから。

（F1）　GE の元々のベースはアメリカなので、アメリカは地震がほとんどないじゃないですか。しかも、アメリカの原発は、海の近くではないところに作っていますよね。

（発表者 1）　原子力発電所は、必ず冷却しなければならないのですよ。だから、湖のそばか、川のそばか、海のそばに作る。ところが、日本には川はあまりない。湖は琵琶湖しかないから、全部海のそばになってしまうのですよ。

――　内陸だと、池も作っているのですよね。冷却用の大きな池を作っている。

（F1）　貯蔵池みたいな感じですか？

（サブ F）　ファシリテーターさん、仕切っていただいていいですか？

（F1）　どうしたらいいのですか？

（サブ F）　3 番を見てくださいね。よかったら大きいのを出しますよ。いいですか？

（発表者 1）　もう 3 番は終わったということで。

（サブ F）　3 番は終わったので、4 番に移ってください。

（F1）　では、回答とコメントをお願いします。

（発表者 1）　「エネルギーバランスは未定？」。エネルギーバランスというのは、本当は、国が決めなければいけない。未定でしょう。だって、皆ゼロだと言っているのだから。ゼロのあと、100%はどこにあるのか、ということですよね。全部石炭にするのか？　ロシアから買うのか？　買うとしたら本当にお金があるのか？　その金を払えなかったときはどうしたらいいのか？　ということになりますよね。だから、こういうときは、「心配しなくても、ちゃんと国はお金があるからね」と言わないと駄目ですよね。そうすると、インフレになったらどうするの、ということになりますが。

未定だから、今国民が不安がっているような気がするのですね。だから、ゼロはいいのだけど、じゃあ 50 年後にゼロなのかどうなのか、そのマイルストーンというか、道筋を決めておかないと。日本は、60 年前は全然電気を使わなかったけど、今はこんなに使っている。そんな中で、ゼロってできるのか？　生活レベルを落とさないと駄目ですね、っていう感じになるじゃないですか。生活は今のままでいいけど、原子力の電気だけは嫌だ、っていうのは、なんか駄目ですね。

次に、「再生可能エネルギーをどう考えるか？」というのは、分からないところがあって。太陽光も、実際にはあまり成功していないのですよね。

――　あれは趣味の部類でしょう。

（発表者 1）　みたいですね。風力も結構、

――　無理でしょう。不安定すぎて。

（発表者 1）　不安定ですよね。日本はいつも風吹かないし。

――　そうなのですよ。私の職場の近くに風力発電がたくさんあるのですが、結構止まっていることが多いのですよ。

――　ソーラーで電気を起こして、自動乾燥機で洗濯物を乾かしても、私は意味がないと

思っているのですよ。

（発表者 1）　この前、私の家に電話がかかってきて、太陽光を売りに来たのですよ。

――　うちにも来ました。

（発表者 1）　太陽光は直列ですよね。だから、途中で壊れたらどうするの、って言ったのですよ。1 個 1 個が電気を作って、それをだーって送っているから、途中で壊れたら、その前の部分は全部電気を起こさないのですよ。

（F1）　再生可能エネルギーというのは、太陽光以外にも、風力も、潮力も、地熱もあるし、波の力もあるし、いろいろあるのでしょう。バイオハイドレードもあるし。それに予算を使えばいいのになと思うのですよね。

（発表者 1）　本当に研究するなら、そうですね。

（F1）　でも、今はもう、原子力ありかなしかでしか、

（発表者 1）　原子力も、ある意味で言うと、ここが今安全上問題なんだ、ってはっきり言ったほうがいいと思うのです。ここには不安な要素があるよと言わなきゃ駄目だと私は思います。
　日本製の原発なんて、日本の技術だったら作れるのですよ。なんでも作れる。でも、そのためには、やはり国を挙げて技術を作らないと。

――　原発とか、リサイクルとか、何しろお金をかけなさすぎですよね。せこすぎる。

（発表者 1）　せこい。日本の会社はせこい。

――　なにしろせこい。それで、あれも足りない、これも足りない。

（発表者 1）　ロシアのガス田についてご意見がありましたが、ものすごくお金がかかるのですよ。あそこはツンドラで寒いでしょう。だから、数千億円かかる。本当にこれは買えるのかということ。
　で、ここについては、私は、

（サブ F）　15 分です。残念ながら、他の人の時間が押してしまうので、ここら辺で終わ

りにしていただけますか？

（発表者 1）　いいですよ。

（F1）　では、次の発表者にチェンジですね。

（サブ F）　ファシリテーターも変わっていきます。では、こういうふうに回っていきましょう。

発表者 2

（発表者 2）　私は、『原子力は本当に必要か？　原子力はやめることができるのか？』を選びました。

原子力は、二酸化炭素を出さずに出力が大きな安定電源であると。また、使用済み燃料から新たに生成するプルトニウム、燃え残りのウランをまたリサイクルできますということです。いいところがあるんです。

一方、一歩制御できなくなると、スリーマイル島やチェルノブイリや福島のような大きな事故につながって、放射能汚染の影響は甚大であるというのも、今回のことでお分かりの通りです。全ての技術にリスクはつきものですけれども、原子力の場合は何か起きますと、その影響が大きく、長くかかる。廃棄物処分問題も同じです。

で、再生可能エネルギーに置き換えればいいといいますけれども、天気任せ、出力の大きいものはなかなかないというところから、まだまだ時間を要すると考えます。

日本は資源小国ですので、ほとんど化石燃料は輸入。で、エネルギーセキュリティですね、海外から輸出しないよと言われてしまったらそこで息が止まってしまうとか。あとは、外貨流出ですね。今は国のお金がどんどん外に流れているということからも、不利な状況ですと。

将来的には、エネルギーの中の原子力の割合は現在より低くなる可能性はありますけれども、今すぐゼロではなくて、1 か 0 かではなくて、「零点いくつ」があってもいいんじゃないか、ということがここに書いてあります。

そして、発展途上国も発展するから、エネルギーのバランスが、世界的にも、日本の中でも変化していくのではないかということで、予測は困難ということでございます。

原子力の技術リスクというのは、今回露呈してしまったところもありますけれども、これを教訓に、技術の力でそれを乗り越えていけると考えております。長期的な視野で今後の国のあり方とか、そういうものももう少し冷静に考えて、今すぐ廃止とかではなく、もう少し長い目で考える必要があるのではないかと考えています。

で、今言いました通り、問題点は技術力でちゃんとリカバーできると。これは努力が必要です。また、今失っている原子力への信頼というものも、時間はかかるけれども、たゆまぬ努力でまた取り戻していかなければいけない。そういうふうに信じているところです。ということが私の今回の宿題の回答です。以上です。

（サブ F）　3 分で終わりました。ありがとうございます。では、ファシリテーターさん、お願いします。今 1 番が終わったところです。2 番からお願いします。

（F2）　あ、はい。

（サブ F）　では、皆さんから質問と意見を出していただきましょうか。時間を区切りましょうか。一応 2 分を目指して、書いてください。

（記入中）

（サブ F）　2 分経ちましたけれども、いかがでしょうか。ファシリテーターさん、もう少し時間を取りますか？

（F2）　もういいです。

（サブ F）　もう終わりですか。では、順番にここに貼ってもらいましょうか。

――　では私から。ええと、先ほどいただいたご質問とのつながりもあるのですけれども、発表者さんが考えている妥当なバランスはどれくらいかなと。正直なところ、どうお考えなのか。今は 35%くらいですかね。これが 20%くらいまでなのか？　それとも 40%まで持っていくのか？

それから、技術のハードルと書かれていますが、どのような技術が必要なのでしょうかということです。

次に、「努力」と書いてあるのだけど、努力だけではあまり、

（発表者 2）　そうですね。精神論だけではね。

――　そうですよね。お金はどうするのかと。もっと国からもらえよ、ということです。

（サブ F）　お金の面での質問ですね。

――　お金がなければ、研究できないですからね。

で、作ったメーカーさんに、メーカー責任はないのでしょうか？　PL 責任ですよね。その当時はなかったのだろうと。だから、結局これと結びつくと思うのだけど、製造責任というのは原子力発電所に当てはまるのか？　ここは私はよく分からないですね。

そして、除染というのは可能なのですか？

やはり皆が思っているのは、除染は可能なのか、東電に本当に責任があるのか、作った東芝や重工にはないのか？　ということかな。以上です。

――　では、次は私ですね。原子力は CO_2 を出さなくて大規模とありますが、CO_2 を出さないけど、放射性物質のごみが出ていますよね。クリーンでしょうかということ。

CO_2 については、火を燃やしている火力は出している気がするけれども、原子力はまったく出していないのですか？　その辺りも全然知らないので。

あと、汚染物質と CO_2 と、どちらが生命の危険に直結しますか？　クリーンなエネルギーだとよく言われるけど、私としては、本当にクリーンなのだろうかっていうのがあるので。

あとは、ゼロではなくて零点いくつでもいいというご意見に関しては、オールオアナッシングではないというのは、私も同じ意見です。

あと、文章の最後に、技術向上や努力によって乗り越えるとありますけど、その努力とか、技術向上はいつごろでしょうか？　いつごろ福島の土地はきれいになれるのかとか、その辺がはっきりしていないのではないかなと思いました。

（F2）　では私ですね。原発は CO_2 を出さないというのですけど、100 万 kW で年間 20 億トンですか、7 度から 9 度の温排水が出ていると。地球温暖化に寄与していないというのだけど、実際には温度の高い水を出していて、稚魚とか魚卵の全滅という結果も出てきているはずですし。

中間処理のプールが、MOX 材料で 44.3 トン、6 月末現在でたまっているという現実があるので、中間処理施設をどうするのか。

（発表者 2）　使用済み燃料の中間の貯蔵施設ですか？

（F2）　ええ。

で、もんじゅですか、実際にリサイクルは、まあ、ワンスルーで終わりだろうってほとんどの人が言っていて。本当にあと 50 年で実現可能だったら、1 年間 1 兆円くらいの予算をかけてやるべきものであって、あんなせこい予算でできるわけがないと思っているのですよね。

―― それは正しいかもしれない。やはり、無人島に持っていくのでしょうね。

（F2） というより、予算がせこすぎます。

（サブ F） これでいいですか？ 〔CO_2は出さなくても、地球温暖化に影響しているのではないか〕。

（F2） はい。

―― 同じように書いてあるじゃないですか。

（サブ F） 温暖化、ということをおっしゃっていたので、書き足しました。
あと、今おっしゃっていたのは、やるならもっと予算をかけるべきだということですね？

（F2） 世界中が変わるような、リサイクルという夢のような話が、何十億とか何百億でできるわけがないと。素人考えですけど。

（発表者 2） そうですね。はい、分かりました。

（F2） だから、国産の原発があるべきじゃないか、というのもあるのですけど。やるのだったら、徹底的にやるべきだと。

（サブ F） では、ファシリテーターをしていただいていいですか。

（F2） あ、すみません。

（サブ F） もう次の段階に突入しつつあるのですけれども、

（発表者 2） では、どうしましょうか？

（サブ F） 今、質問も出ているので、発表者さんに答えていただくのがいいのではないでしょうか。

（F2） はい。お願いします。

（発表者 2） 温排水の話は、やはり海の水温を上げているというのはありますね。地球の

温暖化の割合というのでしょうか、原子力発電所の温排水がどの程度なのか、CO_2 がどの程度なのかは、まだはっきりしていない。CO_2 を出さないようにすることはまず一番の話なのか、原子力をやめるのか。でも、CO_2 のほうが圧倒的に消費量が多いんじゃないかなと。世界的に、化石燃料がですね。

ちょっと、その影響の比率は、正直、正確な答えはできませんけれども。まず、どれくらいの影響度があるのかを理解した上で考えるべき問題だと思います。原子力なのか、化石燃料なのか、あとは車とかですね。これはこんなところです。回答できないで申し訳ありません。

あとは、CO_2 を出さないけれども放射能のごみがどうなのかというご質問があります。今回のように、事故が起きればどんどん広がってしまうというのがあります。本来は青森県の六ケ所村で、低レベルのコンクリートピットとか、技術でうまくコントロールしながら外に放射能が出ないように管理する予定だったのですけれども、今回事故が起きて、広がっているということがあります。

セシウムなどについては私も勉強したことがあるのですけど、セシウムは水に溶けやすいから、地下水であちこち移動するという話がありますけど、どちらかといえばあまり拡散していないというような話もあるらしいです。その辺をもう少し、今の福島の状況を整理して、正確な情報を入手した上で議論を進めるべきではないかなと思っています。

（セシウムは）水に溶けるのか、安定な物質に変わってしまっているのか、ですね。今回の事故は、言っちゃ悪いですけれど、大切なサンプルなので、その辺を検証したほうがいいと思います。

（サブ F）　あと 1 分くらいです。

（F2）　はい。

（発表者 2）　まだ大丈夫ですか？

（サブ F）　大丈夫です。

（発表者 2）　あとは、メーカー責任の話ですね。なぜメーカーが除染をやらないのかという話がありますけど、除染というのは、今の福島の話ですか？

――　そうです。

（発表者 2）　廃炉になるときには、おそらく、プラントメーカーと土建、ゼネコンですね、ゼネコンがかなり力を発揮すると思います。汚染しているところをうまくコントロールし

て壊していくというところを、手順や設計みたいな形にするのはメーカーのほうだと思います。

で、メーカーの義務というよりも、それまでニーズがなかったので、動けなかったというところもあると思います。今回デコミが、デコミというか、廃炉が始まれば、今までは、原子力発電所を 30 年寿命を 40 年に延ばして、40 年を 60 年に延ばして、60 年を 80 年に延ばすっていうのがアメリカなどのやり方だったのですけども、炉以外のものはほとんど取り替えて、リプレイスして、延命治療をするというやり方だったのですけれども、

（サブ F）　時間です。

（発表者 2）　ただ、延ばすことだけ考えていたというところがあるので、ここについては、今後はしっかりメーカーとしては取り組まなければいけないところだと思います。

（サブ F）　次にバトンタッチでいいですか？

発表者 3

（発表者 3）　では、次は私が発表ですね。よろしいですか？

（F3）　細かい字でたくさん書いてありますが、それをまとめるとどういうことでしょうか。では、5 分でお願いします。

（発表者 3）　『原子力は本当に必要か？　原子力はやめることができるのか？』にしました。

必要としないと思っているけど、国策でやってきたことについて、政府の護送船団というんですかね、それでやってきたことで、もう利権も絡んでいるし、しがらみもあるし、今更やめるのは、まあまず無理ではないかと。

また、アベノミクスでなまじ円安になって、トヨタの利益が上がったりして、ちょっといい感じで風が吹いてしまっているので、あの人たちは再稼働したくて仕方がないので、昨日新潟県の知事と東電の社長さんがやり合っていたのを BS でやっていましたけれども、私は、経済と放射能とどちらを優先するのかというところがあるのですが。

私がここで書いたのは、教育現場で、うちの娘がちょうど高校生で、エコロジーについてあなたの取り組みを教えてくださいというのがあって、震災を機に、娘が感じたことを、資料として載せました。

「日本では、医療被ばくが先進国の中でも高く、一説に他の先進国の 6 倍といわれてい

ます。病気の治療のために必要な医療上の被ばくというリスクを負うのみならず、今回の原子力発電所の事故は、美しい自然界の、水も土地も空気も海も、農産物も畜産物も海洋生物も、何もかも放射能汚染にさらされ、1 年間の暫定的な安全基準値が毎日食べる食品に設定されるなど（これは去年書いたものなので)、体内被ばくのリスクまでも私たちの生活に加わりました。

世界唯一の被爆国である日本が、原子力を維持する勢力の巨大な原子力マネーに牛耳られた結果のおろかさをまじまじと感じることになりました」というのが、15 歳の女の子の意見なのですね。

「この夏（去年の夏)、関西電力が福井県の大飯原発を再稼働させました。万が一福島第一原発と同じ事故が起きたら、関西の水がめであり、日本で一番大きい湖である琵琶湖が放射能で汚染され、関西の人が飲む水がなくなってしまうというのにです」と娘が言っているわけです。

これを 15 歳の子が考えたのですけれども、地震があったときはあの子は 13 か 14、息子が 9 歳だったので、その年代の小学生と中学生が、思わずそんなことを考えてしまうような日本になってしまっていて。

毎日食べるものが汚染されているのではないか。牛乳はどこ産だろうか。正直言って、福島の牛乳は飲みたくない。だけど、給食の中には、北海道、岩手とかいろいろなのが入っているのですよ。ミックスした牛乳になっていて。そうしたら、東京のほうでは給食の牛乳を飲まない、弁当を持参させるというような動きもあったわけです。

子供たちが毎日食べるものにも引っかかってしまったということを考えたときに、どうやってこれをクリーンにしていくか。起こってしまったことは仕方ない、と言ったら変ですけど、これを何とかしていくには、原子力の再稼働をなるべくさせたくない。

そうしたら、経済が立ち行かないですよという意見が多いじゃないですか。そうしたら、節電しましょうよ。でも、大企業は、大口契約者なので、すごく安い電気代なのですよ。ただ、中小企業は大変なのです。この機械を回さなくちゃ納品に間に合わないのだけど、お金がかかるとか言っているのですね。

だから、もう照明のイルミネーションとか、ネオンとか、LED に替えたりしているかもしれませんけれども、日本人自身が意識を変えていくべきじゃないかと娘が考えていて、それは私も同じような意見です。

今、お隣さんもうちの家もグリーンカーテンでゴーヤを育てていますけど、やはり、あれだけ去年一昨年と節電を頑張って、間引き運転をしていても、バブルの頃の電気量とトントンだったのですよ。バブルでものすごい華やかだった頃の消費電力と、節電だ、節電だと言っていたときの電気代が結局変わらなかったということで、一度広げてしまうとなかなか小さくできないということです。

私としては、政府がアベノミクスでなまじ経済だ、経済だとやっているから、どうも利権がにょきにょきと顔をもたげてきているようで、木村先生が原子力ムラの境界線をどう

のこうのと言っていた頃（応募する頃）はまだ原子力ムラが悪者だったのに、今はなんとなくそんな話にならなくなっていて、結局は政府なんだな、政治なんだな、という気がしています。だから、そういうことについて述べさせてもらいました。以上です。

（F3）　ご説明ありがとうございました。それでは皆さん、忌憚のない質問をお書きください。

（サブ F）　意見でも大丈夫ですよ。2 分でいいですか？

（F3）　いいんじゃないですか。2、3 分でお願いします。

（発表者 3）　私が答えやすいようにしてくださいよ。一般の専業主婦なのだから。

（記入中）

（サブ F）　質問があったら、Q とつけておいてくださいね。皆意見ですか？

――　はい。質問は特にないですね。

（発表者 3）　では、「同意です」でもいいですよ。

（サブ F）　そうですね。「共感します」とか。そういうのは大事ですよね。

（記入中）

（サブ F）　2 分経ちましたけど、どうしますか？

（F3）　もう 30 秒取りましょう。

（記入中）

（発表者 3）　子供は高校生と中学生で、私は専業主婦で、何のあれもないです。

（F3）　専業主婦が一番意識に目覚めてしまうのですよ。時間があるから。

（発表者 3）　まあ、そうですね。

（F3）　一番テレビに影響される。

（発表者 3）　まあ、でもそんなに見ているわけでもないですけどね。昔は時代劇とか見ていたけど、時代劇は関係ないですよね。

（F3）　はい、よろしいでしょうか。それでは、そちらからお願いします。

――　今、どういう省エネをされているか。工夫ですね。
　あとは、電気料金の値上げはどこまで許せますかと。
　あと、子供のために原子力はやめるべきってよく世間で言われていますけれども、発表者さんはどういうご意見を持っておられるかということですね。

（F3）　では、次の方。

――　はい。電気代は、今でも先進国の中では一番高いです。
　人口減少しているのに、なぜそんなにエネルギーがいるのか？　そんなに電気はいらない。食糧自給率が 4 割というのでしたら、人口を 4000 万まで減らして、それだけの分のエネルギーがあればいいのではないか。

（発表者 3）　それはちょっと怖いものがありますけど。

――　だけど、もうこれ以上日本が繁栄する可能性がないので。

（発表者 3）　人が減っているという意味では、そうですね。

（F3）　では私から。ええと、電気代が上がるのは嫌ですか？　電気代の妥当な線ですね。だから、貧乏人は電気を使ってはいけないのですよ。

（発表者 3）　そうですね。ろうそくで暮らさないといけないですね。

（F3）　そうですね。貧乏な人がいい生活をしようとするところに無理がある。皆、日本人は貧乏ではないと思っているから、そこに無理がある。こういうことを言うと、皆怒ります。
　食べ物に神経質ではないかと思います。何でもガンガン食べたほうがいい。どうせ 80 年も生きないのだから。

で、最大の問題は、レントゲンをしていても、なぜ日本人は長生きなのでしょうか？　世界で 2、3 番目に長生きでしょう。どうしてなのか。

（発表者 3）　それは、それくらいの一瞬のものだったら、DNA が再生するのでしょう。

（F3）　そうしたら、なんか、エネルギーがバンバン増えているよという説明があったじゃないですか。

（発表者 3）　ああ、それは子供の意見です。

（サブ F）　最初に全部質問してから、そういう話に移ってはどうですか。

（F3）　ああ。だから、お子さんにそういうことを本当は聞かなきゃダメだと思います。
最後に、なぜ再生エネルギーって言うのだろうかと。

（発表者 3）　では、答えていっていいですか？

（F3）　どうぞ。

（発表者 3）　まず、省エネの工夫というのは、読んでいただく時間がなかったと思うのですけれども、ここにいっぱい書いてあります。

（F3）　乾燥機とかですね。

（発表者 3）　そうです。乾燥機、食洗器はやめました。あと、なるべくコンセントは抜きました。本当にお金をかけない節電をしました。大型の省エネ家電に買い替えるとか、そういうお金のかかることはできませんから、その分は霧吹きとか打ち水とか、そういうこまめなことで、子供ができること。

（F3）　ああ、それはいいですね。

（発表者 3）　お風呂の残り湯でお水を撒くとか、霧吹きをするとか、エアコンのフィルターを掃除するとか、そういう工夫をしました。それについては娘が書いていますので。

（F3）　では、電気料金についてはどうですか？

（発表者 3）　電気料金については、上がるのは嫌です。嫌だけど、上がるんです。私みたいに賃貸の住宅に住んでいる人たちだったら、太陽光をつけられないのに、太陽光のための買取のお金まで入っている。だから私は、40 アンペアを 30 アンペアまで下げました。そうしたら基本料金が下がるじゃないですか。そうしたら、電子レンジを使ったら飛ぶようになって、電子レンジを使わなくなりました（笑）。

とにかく、主婦としては嫌です。でも、上がってしまう。だって、首都圏に住んでいたら東京電力だから。基本的に他から買えないじゃないですか。

（F3）　持って運べないですからね。

（発表者 3）　ええ。一生懸命自分で自転車をこいで発電できたらいいのですけど、それはできないので、嫌だけど、許容したくないけど、上がってしまう。なるべくなら上げてほしくない。

そのためにはどうしたらいいかというと、大口顧客に対する安い契約を、皆と同じにすれば、東電はすごい楽になるはずなのですよ。大企業さんの工場とか。

（F3）　でも、そこで雇われている人はどうするのだろう。競争力がなくなったら。

（発表者 3）　競争力のために電気代を安くしてあげているのですか？

（F3）　そうですよ。

（発表者 3）　え！？　じゃあ、その人たちを守るためなのですか？

（F3）　その企業で雇うため。

（発表者 3）　ということは、それは国家がやっているわけですか？　国家戦略ですか？

（F3）　そうです。

（発表者 3）　じゃあ、結局国がやっているということですよね。国が、大口顧客には安くしてあげましょう。税金を納めている国民には高く売りましょうと。

（F3）　だって、そこで雇われているのだから。

（発表者 3）　でも、その国民だって家で電気代を払っていて、どこかに勤めているわけで

しょう。

（F3）　なるほど。

（発表者 3）　だって、国民ですよ。納税者ですよ。納税の義務があるわけですから。
　だから、省エネの工夫とか、電気料金に対しては、大口に対する優遇をちょっとでもいいから少なめにしたら、

（F3）　ああ、それは面白い意見ですね。

（発表者 3）　だから、オールオアナッシングじゃなくて。ちょっとでもいいから。

（F3）　ということで、では、どうしてレントゲンをしても長生きするのでしょう？

（発表者 3）　今の話はもういいのですか？

（F3）　いいです。

（発表者 3）　ええと、それはたぶん、一瞬パッと受けるくらいだったら、再生するのですよね。

（F3）　オーストラリアは、ほとんどレントゲンを撮らないのですよ。

（発表者 3）　オーストラリアは厳しいですよ。私、オーストラリアの子をホームステイさせたのですけど、シーフードは一切食べませんでしたからね。

（F3）　でも、オーストラリア人って長生きしないのですよ。

（発表者 3）　なぜですか？　あ、太陽が近いから皮膚がんが多いのですよね。

（サブ F）　大口顧客の話はこういう感じでいいですか？　（付箋の確認）

（発表者 3）　ああ、この辺ですね。

（F3）　その話（大口顧客の話）を、はっきりさせればいいということなのですよね。

（発表者 3）　そうですよね。

（F3）　トヨタさんは家庭の電気（代）の半分だけど、それで稼いでいるから仕方がないよね、と言わせればいい。

（発表者 3）　トヨタにね。それでトヨタをリコールするなり、トヨタを買わないという不買運動をすればいいのですよ。
　で、これはトヨタとは限らない、1 社じゃなくて、大口の優遇の電気代をもらっているところを、ちょっとだけ。東芝さんでも、三菱さんでも、なんでもいいと思います。
　それで、再生エネルギーはなぜ再生かというと、私はバイオとかそういう、

（F3）　ああ、循環するやつですか？

（発表者 3）　うん、ごみ問題がすごいので、ごみを燃やして、何とかできないか。放っておいたら大変なことになるから、あれから何とかならないかなと。

（F3）　ごみですか。火山に入れるという説もあるのですよね。

（発表者 3）　ああ、燃やしてしまうってことですか。
　それで、子供のために原子力をやめるべきという意見に対しては、私も実際、ゼロにはできないだろうけれども、脅しみたいに、再稼働しなければ電気代上げますよ、あれをやられるとすごく嫌なのです。電気代を上げられたくなかったら、再稼働させろ。そこの地域もかわいそうだし。
　でも、地域はすごい恩恵を受けているはずなのですよ。いろいろな交付税がいっぱい入っている。けど、いざ福島みたいになってしまうと、大きなホールを持っていたのに、もう使えないでしょう。一切大きな箱物は使えなくなってしまったので。そういうことで、まあ、仕方がないなということで。

（F3）　あ、ちょうど時間になりました。

（発表者 3）　はい、終わりました。
　ごめんなさい、ここではほとんど同じ意見だったので（特にコメントしなかったことについて）。

――　ああ、はい。

（F3）　こちらの方は、電気料金は高いといって、やはり怒っているわけですよ。

（発表者 3）　私もそう思います。

発表者 4

（サブ F）　では、最後の発表です。

――　あなたはいい人だと思うけど、これは全部は読めないですよ。

（発表者 4）　申し訳ない。いや、これで 10 分の 1 くらいなのですよ。もう 10 分の 1 にしろと言われたのですけど、ちょっと無理だったので。

（F4）　では、発表をお願いします。

（発表者 4）　どこから話したらいいのか。
　前にも教育の問題があったのですけど、福島では実際に教育をやろうとしたのですが、無理だったので。どこに書いてあったかな。

――　4 ページくらいですかね。

（発表者 4）　自分でも分からない（笑）。

――　「出席者から原子力に対して学校教育が必要ではないか～」っていう箇所でしょうか。

（発表者 4）　ああ、はい。進めるほうとやめさせるほうの軋轢があって、実際には教育ができなかったと。

（総合 F）　各班の皆さん、あと 15 分です。

（発表者 4）　あと、電気代に関してなのですけど、実際には稼働率が 8 割以下なので、原子力のほうがかえって高いのではないか。なおかつ、処理に約 78 兆円くらいかかる。というと、kW 時にして、約 8 円以上高くなって、火力とか水力とか、そういうものに換算すると、とんでもない金額になってしまうのではなかろうかという問題がありまして。

あと、あるものは使ったほうがいいだろうというお話はあるのですけれども、もう 1 回福島のような現実が起きてしまうと、もう関西電力云々というような問題ではなくなってしまって、結局は税金で収束させなければならない。

実際に、もう東電は破産状態。スクラップアンドビルドという状態ではなくて、送電、変電、家庭用の配電を入れても、だいたい 5 兆円くらいしか売れない。で、銀行の借入とか、電力債とか、株式を見ると、だいたいそれも 5 兆円くらいに落ちてしまっている。とすると、もう完全に東電そのものに収束する力がない。

除染に関しても、今の福島でも、100 トンぐらいのクレーンを作って、東京ドームみたいに覆って、という規模になると、もう東電では全然手がつかない。無理であろうという話もあります。

何しろ、先ほどお話もあったように、原発をどこが管理するのか。管理するというか、基本的なデザインを誰が決めて、進めるのかというのがどこも何も見えてこない。

―― そういう話ですもんね。

（発表者 4） ええ。だから、国産の原発を作るだけの努力をしてきたのか。沸騰型にしても、加圧式型にしても、結局アメリカの古い技術をそのまま持ってきて、言っちゃ悪いけど、小手先でやってきている。となると、どこにも救いようがない事業に見えてきてしまうのですよね。

（サブ F） あと 1 分です。

（発表者 4） はい。で、日本が化石燃料を使っても、ああいう原発事故があったのなら、世界中から誰も文句は来ないだろうと。要するに、放射能をばらまくのと、CO_2 を増やすのと、世界が日本の立場をどう考えるのか。ただ、文句は出ないと思うんですけどね。

―― ところが、トルコに売ろうとしているのですよね。

（発表者 4） はい、まあ、それはそれで。

だいたい、原発のエネルギーに変える効率は、31～33%くらいしかない。化石燃料のほうは 40%を超すので、まだ効率的であろうという感じですね。

―― 化石にこだわらなくてもいいですよね。

（発表者 4） はい。ただ、風力とかソーラーは、趣味の部類だと思います。はい。

（サブ F）　以上で大丈夫でしょうか？

（発表者 4）　はい。

（F4）　はい。では、時間になりましたので、質問をご用意ください。2 分でしたっけ？ではお願いします。

（記入中）

（サブ F）　ファシリテーターさん、2 分経ちました。どうしましょうか？

（F4）　どうでしょうか、あと 30 秒くらいしましょうか。

（記入中）

（F4）　そろそろいいでしょうか。では、そちらの方からお願いできますか。

――　はい。ええと、反対運動する人たちのエネルギーは何なんでしょうか？

（発表者 4）　すごい質問ですね（笑）。

――　運動しているわけじゃなくて、

――　いや、「そういう人たちの経験から」って書いてあったから、ちょっと聞いてみました。

それからもうひとつ、アメリカの経済の産軍共同体みたいなのがありますよね。そういう、原子力共同体みたいなものは本当にあるのか？　原子力ムラって、そういう感じじゃないですか。皆さんのイメージが。

（発表者 4）　うーん。

――　産業界と軍事力があって、軍事で使わせたらすぐに戦争を起こしていくような感じのものがあったときに、原子力共同体みたいな、原子力をやっていく共同体があることをイメージされているのだけど、本当なのでしょうか、というところ。イメージとして、ですよ。

それから、学校教育は本当に無理なのでしょうかと。以上です。

（F4）　では、そちらの方。

――　私からでいいのですか？

（F4）　じゃあ、私からいきますか？
　では私は、「日本の国力維持とは？」と。先ほど、人数が少なくなって、そこそこでいいのではないかというお話もありましたけれども、日本は何もない国なので、輸出してお金を稼いで、それでどうにか生活を維持していかなければいけないと私は考えているのですけれども、発表者さんにとって、日本のあるべき姿が何かあるのであれば、ちょっとその辺を教えていただきたいと。
　あとこれは、先ほどと同じ質問ですけれども、原子力の要否というのは、1か0かの議論は時期尚早というお考えだと理解できるのですけれども、その辺ちょっと、どういうふうに考えておられるのか。
　では、よろしくお願いします。

――　はい。コストパフォーマンスについて細かく書いてくださっていて、全部はまだ詳しくは見ていないのですけど、家に帰ったら読ませていただきます。
　安いから始めたみたいなところがあったのに、実際はどうなのかというところについて、高いんじゃないかということで、なぜそれを正しく算出していないのか。政府の考えはどういうところにあるのかなということと。
　よく火力が悪者にされるのは、原油が上がるから、今エジプトがもめている、デモがある、そうしたらまた原油が上がるからとか言われていますけど、（原発の）廃炉に対するお金を考えたら、それくらい大したことはないんじゃないかと私は思っています。CO_2 に限らず、原油高だということも言っていて、なぜそこまで火力を悪く言うと思いますか？　私は、トントンだったら、放射能よりましと思っているのですけど。
　あとは、とても勉強になりました。特にコストパフォーマンスについては、すごく詳しくて。一般の方がここまで勉強されていて、私もなんとなく新聞とかあちこち読んでいるけれども…。ちゃんと表に出されているのは素晴らしいと思いました。以上です。

（F4）　はい。どうもありがとうございました。
　それでは、発表者さん、1つ1つお答えください。

（発表者4）　はい。反対運動のエネルギーは何ですかっていうんですけど、私は、書いているときに、孫の写真が貼ってあるのですよね。ニコッと笑った写真。それが私のエネルギーです。

産軍共同体については、日本の原発を引っ張ってきたのは、中曽根さん。最初の原子力委員が正力さん。中曽根さんは何しろ、プルトニウムがほしい。できれば原爆を作りたい。で、実際に今、長崎型にして 5500 発分のプルトニウムがたまっている。最初に、そういう方々が作り出したシステムのような気もいたします。

学校教育は無理なのかということであれば、まあ、福島県自体でも、それをしようじゃないかっていう考えが最初はあったようですけれども、結局、実際に福島で働いている方が圧倒的に多いので、教育ができないと。賛成にしても反対にしてもできない。タブー視されてしまって。反対派の議員さん、賛成派の町長さんとかのところには資料は集まるけれども、一般の方たちは聞きたくもない、見たくもないというような感じだったらしいです。

で、次は、

（F4）　日本の国力ですね。

（発表者 4）　国力ですか。もうこれ以上経済発展の要素がないと思います。

（F4）　維持するためには。

（発表者 4）　維持は無理です。

――　（笑）　ということは、生活レベルが落ちるということですよ。

（発表者 4）　もちろん。今、無理やり円安にして、原材料を高くしていますけど、それはもう下落の、要するに物価が、来年 8%とか、1 割になる前に、当然円の値打ちが落ちてきちゃうので。

――　なんか暗いですね。どうしたら明るくなりますか？

（F4）　お孫さんのためにも。

――　そうですね。お孫さんがニコッと笑っているのだったら、ニコッとを継続させるためには、どうしたらいいと思いますか？

（発表者 4）　あの、無理して莫大なエネルギーを必要としない、要するに、日本人はあると意地汚く使い続けてしまうので、とりあえずなくさないと、次のシステムを考えようがないのですよね。

―― それは面白い発想ですね。

（発表者 4） 農耕民族であるので、

―― まず貧乏にさせようと。そうすれば何か考えるだろうと。

（発表者 4） そうです。退路を断たないと、いつまでも引きずっていってしまう。あるんだからとか、もったいないからとか。今、LED とか、省エネのエアコンだって買い替えているけど、あれだって実際にエネルギーは使っているので。

何しろ、あると使ってしまうという、その根性の浅ましさ。ズバッと切ってしまう。

要するに、原子力反対ではないのです。やるなら徹底的に、日本の国土とか、環境に合うものを作り出せということです。

―― サブファシリテーターさんは、今だけ、答えを一生懸命書いているのですか？ なぜ今まで、全部に書かなかったのですか？

（サブ F） ちょっと拾いきれなかったところがありました。申し訳ありません。

では、剥がしますか？

（F4） いや、（剥がさなくて）いいですよ。そちらの方はちゃんとイエスかノーかはっきり回答されるから書きやすいのですよ。私の場合は回答が曖昧模糊だったから。

（サブ F） 今、進め方の通りに進めていただいたので、非常に書きやすかったです。

先ほどは、がーっと議論に入ってしまったので、ちょっと書くタイミングを逸して、申し訳ありませんでした。

―― ここも答えがなくて、こっちも答えがなくて、ここだけきちんとというのは…。

（サブ F） 一部拾えるところは拾ったのですけど。ごめんなさい。

―― だんだん答えが出てくるようになるのですよ。そういうことだと思いますよ。

―― でも、最終的にこれは資料になるじゃないですか。そのときに、答えがないのは避けたい。私は、それは不安定だなと思った。

（サブ F）　申し訳ありません。統一しておいたほうがいいですか？

――　いや、もう貼っておいていいですよ。

（F4）　いいと思います。

（サブ F）　申し訳ありません。この後、全員共有のときに、1 人 1 人の発表がありますので、そのときにこういうものが貼ってあれば、皆さんが発表するときに、こういう意見が出て、こういう答えをしたな、というのが振り返りやすいので、実はよろしかったのですね。申し訳なかったです。

――　だってこれは、〔人口減少〕という付箋に、〔しているのになぜそんなにエネルギーが必要なのか？〕、これは質問を書き足しているだけで、答えは書いていないのですよ。

（総合 F）　だいたい時間になりました。終わったところから休憩にしてください。そして、14 時 50 分から全体共有を始めます。

（サブ F）　本当は、黄色の回答者用の紙みたいなものを作って、それを貼っていけばよかったなというのは、反省としてあります。

――　おっしゃる通りですね。私は、これを見て、おかしいと思いました。

（サブ F）　では、大変申し訳ないけれども、こういうことで、よろしくお願いします。

――　休憩ですか？

（サブ F）　この後、全体共有では、「進め方」の 6 番を読んでいただきたいのですけれども、これを使って、各自が 3 分間話すことになります。ですから、今ざっと貼りましたけれども、ご自分のスペースについて、自分が発表しやすいように貼りなおしたり、補足で書いておきたいことがあったら、書き足してください。ごめんなさい、私が拾えなかったところも、もしよかったら自分で、

――　自分のところだけでしょう？

（サブ F）　自分のところだけです。人のところはしないでください。
2 分で発表して、あとは、グループでどういうことを話したのかということ、基本的には

どういう質問とどういう意見が出たかということが、

―― 出たかということで、どちらかというと資料をベースにお話すればいいのですね？

（サブ F） そうです。資料を 2 分で話して、どういうことを聞かれたのかということを 1 分で話していただければと思っています。その準備をしていただきながら休憩をしてください。

（各自付箋の貼り換えと休憩）

＜終了＞